



## 平成27年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月12日

上場取引所 東

上場会社名 フリービット株式会社

コード番号 3843 URL <http://www.freebit.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石田 宏樹

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営管理本部長

(氏名) 和田 育子

TEL 03-5459-0522

四半期報告書提出予定日 平成26年12月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (全投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年4月期第2四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成26年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第2四半期	10,521	1.2	599	△2.6	511	△4.7	718	—
26年4月期第2四半期	10,395	△0.3	615	68.1	536	117.7	50	—

(注) 包括利益 27年4月期第2四半期 800百万円 (881.5%) 26年4月期第2四半期 81百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第2四半期	36.76	36.67
26年4月期第2四半期	2.58	2.53

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年4月期第2四半期	17,602	7,253	37.4
26年4月期	16,732	6,486	36.1

(参考) 自己資本 27年4月期第2四半期 6,588百万円 26年4月期 6,042百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
27年4月期	—	0.00	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
平成27年4月期の配当予想については未定です。

### 3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	11.3	1,500	13.6	1,350	10.7	600	154.5	30.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) フリービットクラウド株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年4月期2Q	20,414,000 株	26年4月期	20,414,000 株
② 期末自己株式数	27年4月期2Q	868,800 株	26年4月期	868,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年4月期2Q	19,545,200 株	26年4月期2Q	19,544,196 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手若しくは閲覧の方法)

- ・決算補足説明資料は、TDnetで同日開示を行うとともに当社ウェブサイトにも掲載する予定です。
- ・決算説明会内容は、その記録動画を当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

当社グループは、中期経営計画『SiLK VISION 2016』の2年目において、将来の成長が予想される3つの領域「モバイル革命」、「生活革命」、「生産革命」への徹底した顧客志向のサービス投入をテーマとし、以下の平成27年4月期の基本方針に則り引き続き事業を展開いたしました。

## &lt;平成27年4月期基本方針&gt;

## 1. モバイル事業の成長

- ・「freebit mobile」のユーザー数拡大及び「YourNet MVNO Pack」のパートナー企業の拡大
- ・競争力のあるコスト構造の構築

## 2. クラウド事業の成長

- ・競争力のあるコスト構造とサービスの構築及び回線／クラウド／アプリの統合サービスの提供

## 3. アドテクノロジー事業の成長

- ・子会社の株式会社フルスピード（以下、「フルスピード」）との積極的な技術融合によるDSP／3PASの開発を推進し、アドテクノロジー企業としての地位の確立を目指す

## 4. 新規事業の立上げ

- ・M2M／ビッグデータ技術を利用した医療周辺サービスの第2弾展開

## 5. 戦略的投資の実行

- ・グループブランド構築のための継続的投資
- ・成長の下支えとしてコア事業関連の買収戦略の実行

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き上記基本方針に則り、今後の更なる事業拡大を目的とした事業戦略の推進に注力いたしました。

特に、注力するモバイル事業においては、当社がMVNE（Mobile Virtual Network Enabler）として提供している「YourNet MVNO Pack」が短期間かつ低コストでMVNO（Mobile Virtual Network Operator）事業を立ち上げられることが高く評価され、新たに市場参入する企業に順調に採用されることとなりました。更に子会社の株式会社ドリーム・トレイン・インターネット（以下、「DTI」）がMVNO事業者として提供するモバイル通信サービス

「ServersMan SIM LTE」も堅調に推移しました。また、当社グループの粋を集めて拡大に努めているモバイル事業の一つである「freebit mobile」については、戦略的ブランドマーケティングを企図した計画投資を実行し、東京に旗艦店となる「ATELIER freebit 渋谷スペイン坂」をオープンするとともに、それと連動したメディア露出拡大施策を講じました。その結果、広告とマスメディアによる複合的なブランドイメージの拡散が功を奏し、市場認知度の向上とユーザー数の拡大につなげることができました。

クラウド事業においては、市場において様々なクラウドサービスが乱立しつつあることによる過当競争傾向を予め推知し、競合企業に先駆けて事業の選択と集中をはかり事業効率の向上を目論んだことで、売上高は減少したもののセグメント損益は黒字転換いたしました。また、今後の市場動向を俯瞰したうえで当社グループの事業企画力を活かしたプロダクト投入の準備を行いました。

アドテクノロジー事業においては、フルスピードが“Ad Technology & Marketing Company”として“創る機能”と“販売する機能”の両軸による国内唯一のハイブリッド型ネット広告代理店の確立に向けて事業を展開しており、当社グループの強みを活かした自社開発による独自のソリューションプロダクトを投入していくことで、競合他社との差別化を図っております。

以上の結果、売上高は10,521,795千円（前年同期比1.2%増）、営業利益は599,822千円（前年同期比2.6%減）、経常利益は511,380千円（前年同期比4.7%減）となりました。

また、第1四半期連結会計期間に、子会社であったフリービットクラウド株式会社を平成26年5月1日付でDTIに吸収合併したことにより繰延税金資産を計上したことに加え、当第2四半期連結会計期間において、フルスピードが発行した新株予約権が行使されたことに伴う持分変動利益及びフルスピードが投資有価証券を売却したことによる投資有価証券売却益を計上したことで、四半期純利益は718,390千円（前年同期比1323.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① ブロードバンドインフラ

モバイルサービスへのユーザー移行が一巡したことで、固定網による収益が安定化したことに加え、「YourNet MVNO Pack」の採用企業増加とその採用企業によるエンドユーザー向け販売増加により、契約数は好調に推移しました。また、マンションインターネットサービスを主な事業とする子会社の株式会社ギガプライズにおきましても、販路拡大施策や先行投資、サービス品質向上施策が結実し、契約数が大幅に増加しました。

一方で、回線品質向上や契約数増に伴う基幹網増強コストが増加しましたが、上記収益増で吸収した結果、売上高は4,205,040千円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益は586,141千円（前年同期比71.3%増）と大幅な増収増益となりました。

② クラウドコンピューティングインフラ

主力サービスである「フリービットクラウドVDC」の既存ユーザーをターゲットにサービス利用増加促進策を講じるとともに、新規顧客獲得に邁進したこと及び体制面並びにコスト構造等の改革により利益が増加しました。

以上の結果、売上高は1,013,866千円（前年同期比11.2%減）、セグメント利益は48,193千円（前年同期は62,161千円のセグメント損失）と黒字転換となりました。

③ アドテクノロジーインフラ

インターネット広告事業を主な事業とするフルスピードは、“Ad Technology & Marketing Company”をビジョンに掲げ、既存事業であるインターネット広告代理店事業や同社子会社の株式会社フォーイトが展開する「アフィリエイトB」等の拡販を強化し確固たる収益を確保する一方で、拡大するRTB（リアルタイム入札）型ディスプレイ広告市場に向けて「AdMatrix」ブランドで展開するインターネット広告統合管理ツールの展開を推進し、新たな事業の柱にするべくアドテクノロジーカンパニーへの転換を企図した取り組みを進めています。

以上の結果、売上高は3,983,683千円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益は232,457千円（前年同期比20.6%減）となりました。

④ 次世代インターネット・ユビキタスインフラ

特許技術をはじめとした当社独自技術によるM2M関連のサービス展開を引き続き行うとともに、当社グループの戦略プロダクトであるスマートフォン「PandA」のハードウェアバージョンアップを行いました。また、M2M関連のノウハウを活かした「PandA」用アプリを開発し利便性向上による競合他社との差別化をはかりました。

以上の結果、売上高は22,626千円（前年同期比23.7%増）、セグメント損失は101,301千円（前年同期は115,004千円のセグメント損失）となりました。

⑤ B2C

固定回線の減衰率はとどまりつつありながらも未だ完全な回復基調には至らない中で、モバイル事業の「freebit mobile」及び「ServersMan SIM LTE」のMVNOサービスの利用者獲得が順調であったため、堅調な会員数で推移いたしました。なお、「freebit mobile」については、販売エリア拡大及び積極的プロモーション等の戦略的投資を実行いたしました。

以上の結果、売上高は2,338,318千円（前年同期比3.1%減）、セグメント利益は128,687千円（前年同期比73.2%減）となりました。

## セグメント別売上高及びセグメント損益

(単位:千円)

区分	売上高	セグメント利益 又は損失(△)
ブロードバンドインフラ	4,205,040	586,141
クラウドコンピューティングインフラ	1,013,866	48,193
アドテクノロジーインフラ	3,983,683	232,457
次世代インターネット・ユビキタスインフラ	22,626	△101,301
B2C	2,338,318	128,687
その他	85,424	13,450
調整額	△1,127,164	△307,806
合計	10,521,795	599,822

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は17,602,141千円となり、前連結会計年度末と比べて869,506千円増加しました。これは主として、のれんが344,305千円減少したものの、現金及び預金が1,011,617千円増加したことによるものです。

負債合計は10,348,849千円となり、前連結会計年度末と比べて102,885千円増加しました。これは主として、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)が313,460千円及び未払金が124,198千円減少したものの、短期借入金が619,170千円増加したことによるものです。

純資産合計は、四半期純利益により利益剰余金が増加したことや少数株主持分が増加したこと等により、前連結会計年度末と比べて766,620千円増加の7,253,292千円となり、この結果、自己資本比率は37.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月期の通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期の業績が概ね想定通り推移しているため、平成26年6月13日に公表しました数値から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、フリービットクラウド株式会社については、平成26年5月1日付で株式会社ドリーム・トレイン・インターネットと合併したため、連結の範囲から除いております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,761,917	5,773,534
受取手形及び売掛金	2,947,579	2,882,999
商品及び製品	84,388	110,752
仕掛品	2,652	1,191
原材料及び貯蔵品	4,908	4,356
その他	2,388,478	2,292,904
貸倒引当金	△159,139	△216,419
流動資産合計	10,030,784	10,849,320
固定資産		
有形固定資産	1,937,816	1,957,864
無形固定資産		
のれん	2,900,441	2,556,135
ソフトウェア	247,410	307,522
その他	168,403	147,648
無形固定資産合計	3,316,256	3,011,307
投資その他の資産		
投資有価証券	967,117	913,569
差入保証金	376,129	399,689
その他	520,283	895,785
貸倒引当金	△415,753	△425,394
投資その他の資産合計	1,447,778	1,783,649
固定資産合計	6,701,850	6,752,821
資産合計	16,732,635	17,602,141
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,242	56,174
短期借入金	1,382,500	2,001,670
1年内返済予定の長期借入金	2,066,511	1,957,315
未払金	3,247,706	3,123,507
未払法人税等	192,217	207,760
引当金	78,874	42,448
その他	897,034	870,690
流動負債合計	7,915,086	8,259,567
固定負債		
長期借入金	1,622,188	1,417,924
引当金	23,215	20,826
その他	685,472	650,531
固定負債合計	2,330,877	2,089,282
負債合計	10,245,964	10,348,849

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,045,685	3,045,685
資本剰余金	1,673,902	1,673,902
利益剰余金	1,782,392	2,369,696
自己株式	△488,747	△488,747
株主資本合計	6,013,232	6,600,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,083	△41,868
為替換算調整勘定	24,031	29,544
その他の包括利益累計額合計	29,115	△12,323
新株予約権	828	12,476
少数株主持分	443,495	652,602
純資産合計	6,486,671	7,253,292
負債純資産合計	16,732,635	17,602,141

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
売上高	10,395,086	10,521,795
売上原価	6,462,748	6,659,394
売上総利益	3,932,337	3,862,400
販売費及び一般管理費	3,316,392	3,262,577
営業利益	615,945	599,822
営業外収益		
受取利息	1,458	649
受取配当金	204	2
投資有価証券評価益	—	19,890
受取保険料	5,678	—
その他	2,333	7,764
営業外収益合計	9,674	28,306
営業外費用		
支払利息	50,141	41,521
持分法による投資損失	32,392	4,357
支払手数料	—	63,334
その他	6,646	7,534
営業外費用合計	89,180	116,748
経常利益	536,439	511,380
特別利益		
持分変動利益	—	79,171
投資有価証券売却益	—	103,156
子会社株式売却益	13,461	—
特別利益合計	13,461	182,328
特別損失		
減損損失	41,458	—
投資有価証券評価損	3,942	13,449
過年度決算訂正関連費用	169,660	—
その他	27,627	830
特別損失合計	242,690	14,280
税金等調整前四半期純利益	307,210	679,429
法人税、住民税及び事業税	118,598	233,132
法人税等調整額	113,792	△394,311
法人税等合計	232,390	△161,179
少数株主損益調整前四半期純利益	74,820	840,608
少数株主利益	24,336	122,217
四半期純利益	50,483	718,390

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	74,820	840,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	△47,018
為替換算調整勘定	5,156	4,111
持分法適用会社に対する持分相当額	1,656	2,969
その他の包括利益合計	6,753	△39,937
四半期包括利益	81,574	800,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,101	676,952
少数株主に係る四半期包括利益	26,472	123,718

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	307,210	679,429
減価償却費	277,577	310,164
のれん償却額	415,611	320,989
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14,852	66,619
受取利息及び受取配当金	△1,663	△651
支払利息	50,141	41,521
為替差損益(△は益)	△8	△1,970
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△103,357
持分変動損益(△は益)	—	△79,171
持分法による投資損益(△は益)	32,392	4,357
減損損失	41,458	—
売上債権の増減額(△は増加)	153,490	64,605
仕入債務の増減額(△は減少)	△38,716	5,670
その他	78,051	3,556
小計	1,330,398	1,311,762
利息及び配当金の受取額	1,113	460
利息の支払額	△48,798	△39,968
保証債務の履行による支出	△582,000	—
過年度決算訂正関連費用の支払額	△166,869	—
法人税等の支払額	△291,792	△291,815
法人税等の還付額	107,967	100,721
営業活動によるキャッシュ・フロー	350,018	1,081,159
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△15,005	△50,000
定期預金の払戻による収入	—	83,038
有形固定資産の取得による支出	△157,456	△134,148
無形固定資産の取得による支出	△126,175	△94,026
投資有価証券の売却による収入	—	114,884
貸付金の回収による収入	241,907	—
連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の払込による収入	24,140	—
差入保証金の差入による支出	△828	△25,660
その他	36,560	3,944
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,142	△101,968
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	603,000	619,170
長期借入れによる収入	100,000	888,000
長期借入金の返済による支出	△926,895	△1,201,460
社債の償還による支出	△50,000	△150,000
少数株主からの払込みによる収入	—	197,481
配当金の支払額	△135,052	△134,983
リース債務の返済による支出	△130,381	△150,746
その他	△21,383	△6,955
財務活動によるキャッシュ・フロー	△560,713	60,506
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,023	4,958
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△206,528	1,044,656
現金及び現金同等物の期首残高	4,708,860	4,706,878
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	29,575	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,531,906	5,751,534

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成25年10月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	ブロードバンド インフラ	クラウドコンピ ューティング インフラ	アドテクノロジ ーインフラ	次世代インター ネット・ユビキ タスインフラ	B2C
売上高					
外部顧客への売上高	2,906,907	1,029,101	3,901,096	18,244	2,412,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	917,315	112,276	20,563	46	1,165
計	3,824,223	1,141,378	3,921,659	18,290	2,413,634
セグメント利益又は損失(△)	342,101	△62,161	292,936	△115,004	480,930

(単位:千円)

	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高				
外部顧客への売上高	127,267	10,395,086	—	10,395,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,466	1,065,834	△1,065,834	—
計	141,733	11,460,921	△1,065,834	10,395,086
セグメント利益又は損失(△)	△13,316	925,485	△309,540	615,945

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△309,540千円には、のれん償却額△323,962千円、貸倒引当金の組替額9,281千円及びその他の連結調整額5,140千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成26年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	ブロードバンド インフラ	クラウドコンピューティング インフラ	アドテクノロジー インフラ	次世代インターネット・ユビキ タスインフラ	B2C
売上高					
外部顧客への売上高	3,230,145	895,599	3,962,939	16,682	2,334,115
セグメント間の内部売上高 又は振替高	974,894	118,267	20,744	5,944	4,203
計	4,205,040	1,013,866	3,983,683	22,626	2,338,318
セグメント利益又は損失(△)	586,141	48,193	232,457	△101,301	128,687

(単位:千円)

	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高				
外部顧客への売上高	82,314	10,521,795	—	10,521,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,110	1,127,164	△1,127,164	—
計	85,424	11,648,959	△1,127,164	10,521,795
セグメント利益又は損失(△)	13,450	907,629	△307,806	599,822

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△307,806千円には、のれん償却額△312,445千円及びその他の連結調整額4,639千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更

第1四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、ブロードバンドインフラ、クラウドコンピューティングインフラ及びアドテクノロジーインフラに関する一部の費用の配賦方法を各セグメントの事業実態にあった合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の配賦方法に基づき作成したものを開示しております。